

研究実施に関する情報公開

対象となる方	独)労働者健康安全機構が運営する全国の労災病院(総合せき損センター及び吉備高原医療リハビリテーションセンターを含みます)に2012年1月～2023年3月に入院された患者さんのうち、以下の条件を満たす方: ●入院患者病職歴調査に同意し、回答いただいた方 ●入院時に15歳以上であった方 ●人間ドック受検のみ以外の方(人間ドック受検のみの方は除きます)
研究課題名	難聴と職業・産業:入院患者病職歴調査を活用した横断研究
研究期間	2024年9月27日～2026年3月31日
研究責任者	独)労働者健康安全機構 本部研究ディレクター 豊田 章宏
研究実施についての許可	本研究の実施について、労働者健康安全機構本部医学系研究倫理審査委員会の承認(承認番号:第2024-28番)を得て、独)労働者健康安全機構理事長の許可を得ています。
研究の意義・目的	難聴は長期的に音声言語コミュニケーションを障害し、日常生活や社会生活の質(QOL)の低下を引き起こします。難聴は職業性疾病のうち最も頻度の高いものの1つとされており、その予防と治療は勤労者医療の重要課題です。本研究は、難聴と職業分類、難聴と産業分類、難聴と特殊健診受診との関連、難聴患者の併存疾患、治療方法、転帰について解析を行い、労働環境の改善に資する根拠を得ることを目的としています。

研究の方法	難聴を持つ入院患者さんとその他の入院患者さんについて、産業分類、職業分類、特殊健診受診の状況を比較するとともに、難聴患者の併存疾患、治療方法、転帰の頻度を記述します。
分析に用いる情報	病職歴データに含まれる以下の情報を用います。 ●入院中にご回答いただいた勤労者医療調査票 ●病院職員が作成した入院診療要約書に含まれる患者さんの診療記録 なお、病職歴データには、氏名、住所、保険証番号、診察券番号など、患者さんを直接識別できる情報は含まれていません。
情報の取得の方法	入院患者病職歴調査より、独)労働者健康安全機構の本部が作成した病職歴データを、独)労働者健康安全機構の理事長の許可を得てこの研究に用います。
情報の提供を行う機関	独)労働者健康安全機構(理事長 大西 洋英)
情報の管理について責任を有する者	独)労働者健康安全機構 本部研究ディレクター 豊田 章宏
情報の利用開始日	2024 年 10 月 1 日
情報の他機関への提供について	病職歴データから、分析に必要な情報のみを抽出し、患者さん個人を識別できる情報を含まない分析用データを作成します。共同研究機関である静岡社会健康医学大学院大学、東海大学医学部、国立保健医療科学院・研究情報支援研究センターには、分析用データのみを提供します。なお、外国にいる者にデータを提供することはありません。

**研究組織(研究機関と
研究責任者)**

本研究は下記の組織で実施します。

●研究代表者 豊田 章宏 労働者健康安全機構本部研究ディレクター 中国
労災病院治療就労両立支援センター所長

●研究参加施設(各施設の研究責任者)

中国労災病院(豊田 章宏)

東海大学医学部(立道 昌幸)

静岡社会健康医学大学院大学(小島原 典子)

国立保健医療科学院・研究情報支援研究センター(星 佳芳)

個人情報の取り扱い

分析に利用する病職歴データには、氏名、住所、保険証番号、診察券番号など、患者さんを直接識別できる情報は含まれていません。さらに、研究の成果を学会発表や学術雑誌で公表する際には、少数例など患者さんの特定につながる情報は公開しません。具体的には該当者が10例未満となる場合は空欄とするかそのような項目は公表しません。

お問い合わせ先

この研究に関してご質問や心配なことなどありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。また、ご自身の情報がこの研究で用いられることにご了承いただけない場合にも、2024年10月31日までに以下の連絡先までお問い合わせください。期限までにご連絡いただいた患者さんは、分析の対象とはしません。期限までにご連絡をいただかなかった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、ご了承いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。

【労働者健康安全機構本部】

労働者健康安全機構勤労者医療・産業保健部勤労者医療課

神奈川県川崎市中原区木月住吉町1-1

病職歴担当窓口(平日9~17時)

TEL 044-431-8642